



初夏の候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 4月4日に行われました三原市議会議員改選選挙では、みなさまのご支援を賜り、**2期目の当選**を果たすことができました。ありがとうございます。
 我々の住む三原市を住みやすく、そして、生き生きとした魅力あるまちに変えていくために、1期目以上に頑張って参りますので、引き続きご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



(リージョン体育館のワクチン接種会場)

長期化していたコロナによる緊急事態宣言も、6月20日をもって解除されましたが、予断をゆるさない状況は続いております。本市においても、できるだけ早く全市民のワクチン接種が完了し、安心な日常が取り戻せるよう行政と協議を継続して参ります。

今回は、2月と6月に開催された三原市議会定例会の状況報告と活動状況を中心に、みなさまにご報告致します。

1. 令和3年度の田中ひろき活動方針

- ◆ 所属会派 **新生クラブ (4名) : 5月より新たに立ち上げた会派に移りました**
- ◆ 担当委員 **経済建設委員長、都市計画審議委員会委員、議会広聴部会員
三原市空家等対策協議会委員**
- ◆ 活動方針 **住みやすく 生き生きとした 魅力ある三原をめざします!!**
- ◆ 活動目標 **賑わいと交流のある街づくりのための行政への提言と、自らが動き変革を進めていきます**
 ※活動内容は、後援会だよりで報告していきます。

2. 2月/6月の定例議会で問う

2月の定例議会の一般質問では、(1)佐木島航路の運賃補助について、6月の定例議会の一般質問では(1)コロナワクチン接種の対応について、(2)県道344号大草三原線(長谷地区)の拡幅整備について、本市の考えを問いました。以下に、一般質問の概要を示します。

2月(1)佐木島航路の運賃補助について

- 【質問】①4月から運賃値上げが行われ、島民の負担が増える。特に高齢者の通院負担に大きな影響がでるため、これまで通り自己負担100円の敬老優待乗船券の維持が出来ないか。
 ②敬老優先乗船券は、航路再編後、高速船とフェリーの共通券として使用できないか。また、高齢者の通院のための車の送迎乗船にも、複数枚使用して自動車運賃に充てるようにできないか。
 ③運賃補助等を求める署名が、約14,000人も集まった。高齢者以外の島民や、定期券購入補助も検討したいが、見解を問う。



(佐木島行の高速船)

- 【答弁】①運賃改定後も、自己負担100円での敬老優待乗船券の交付は維持する。
 ②船会社が異なり、また料金も異なるが、島民の利便性を考え、協議を進めて行く。また、交付した乗船券の範囲内で、自動車運賃に充てられるようにする。
 ③運賃値上げは、島民の生活に大きく負担となるため、早急に制度設計し実施したい。

※尚、島外者の運賃の大幅な値上げに対する補助等については、継続して要望をして参ります。

6月(1) コロナワクチン接種の対応について

【質問】①4月初旬の高齢者向けワクチン接種の受付は大変混乱したが、高齢者の接種は順調に推移を始めており、7月末までに完了する予定である。次のステップとして、64歳以下の約48,000人の接種は、どのように行う計画なのかを問う。

【答弁】①60～64歳に対して、6月後半から接種券の送付を開始し、7月下旬から8月で集団接種ができるように取り組んでいる。60歳未満は、ワクチン供給の見通しが不明確なため、明確なスケジュールは描けていない。

6月(2) 県道344号大草三原線(長谷地区)の拡幅整備について

【質問】①県道344号の長谷地区の区間は、狭隘な箇所が多く、交通事故が多発している区間である。過去の整備の検討状況と、整備が進まない理由について問う。

②現在、県の整備計画はどのようになっているのか。また、拡幅整備に向け、本市はどのように進めようとしているのか。



(狭隘な県道344号長谷地区)

【答弁】①過去に県が改良計画を検討していたが、本郷久井線及び三原本郷線の整備を優先したため着手していない。また、当面の安全確保対策として平成28年に待避所の設置を検討したが、地質上施工が困難で、多額の工事費となるなど課題が多く、また30年の豪雨災害の復旧事業が優先となったため、実施に至っていない。

②令和3年から7年の県の道路整備計画には挙がっていない。次期計画への位置付けを県と調整していく。

3. トピックス

◆ 三原内港再生基本計画の原案策定中

地域経済や地域振興活動の活性化を促進するとともに、魅力的で賑わいのあるまちづくりを実現するために、三原内港再生基本計画の原案を県と市が策定中です。これまで、ワークショップやアンケート、市場調査等を行い、三原内港がめざす姿の整理を行っていますが、特徴がぼやけており、今後、関係各所との協議の中で修正がなされ、年内に基本計画が策定される予定です。

4. 活動報告&お知らせ

(1) 佐木島の体験メニューを募集中

瀬戸内海に浮かぶ佐木島ならではの体験メニューを募集しています。子ども達や家族、グループで楽しめる1～3時間で出来る島の体験メニューを作りませんか。アイデアがあればお聞かせください。島での体験を楽しみに来て下さる島外の方を増やしていきたいと考えています。

5. あとがき

コロナ下での改選選挙で2期目の当選をさせていただきました。私は、市民の声を行政に届けるだけでなく、人口減少が継続し経済が停滞する中、三原の将来を考え、今何をすべきかの政策提言に力を入れてやってきました。本市の将来は決して明るくはなく、今後の厳しい財政状態の中で、市民生活のレベルを維持し、向上させていくためには、大胆な行財政改革と目に見える形での変革が必要であると思っています。そして、周辺自治体との違いを打ち出し、「三原らしさ」を作っていくことが急務であると感じています。

現市政では、将来を見据えた具体的な政策提言はまだ見られません。どれ程市長が将来構想を考えているのかを見極める必要がありますが、我々議員も、行政から出される議案の審議だけでなく、自ら三原をこうすべきだと提言できる能力を身に付ける必要があると思っています。日々勉強です!!



田中ひろき後援会

田中裕規

◇ プロフィール

- 1959年8月9日生

- 東京農工大学工学部大学院卒

- 元帝人㈱社員

<連絡先>

三原市港町三丁目16番13号

携帯: 090-7137-0440

FAX: 0848-64-8911

<https://www.tanakahiroki.info/>

<発行責任者> 武郷康則

